

事業概要説明書

事業名	コミュニティサイクルの推進					
担当部署	都市局 都市計画部 都市交通課					
事業開始年度	平成21年度					
根拠法令等						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他()					
事業概要	<p>さいたま市総合都市交通体系マスタープランにおける「自動車に過度に依存しない交通体系の実現」に向けた取組の一環である。</p> <p>コミュニティサイクル[※]は、短距離移動の利便性向上や、都市内の回遊性向上、都心地区の連携強化に資するものであり、市民をはじめ、企業活動、来訪者等への都市の利便性の向上事業として導入するものである。</p> <p>○平成21年度 導入可能性調査を実施し、コミュニティサイクル導入後の利用意向を確認。</p> <p>○平成22年度 前年度の調査結果において利用意向が確認されたことから、本格導入を見据えた有料による社会実験を実施し、利用需要を確認。</p> <p>○平成23年度 学識、市民、企業、関係行政機関からなる検討委員会を設置し、持続可能なシステムの構築に向けた検討を行い、「さいたま市コミュニティサイクル導入指針」を策定。</p> <p>※街中に複数の貸出拠点(サイクルポート)を設置し、利用者がどのサイクルポートでも自由に貸出と返却ができる新しい都市交通システムである。すでに本格導入されている都市では、通勤・通学、買い物や観光、仕事などで多くの方に利用されている。</p>					
事業費	区分	単位	平成22年度(決算)	平成23年度(決算)	平成24年度(予算)	
	事業費	千円	1,039	4,935	140	
	概算人件費	千円	0	0		
	総計	千円	1,039	4,935	140	
	財源内訳	国・県支出金	千円	0	0	0
		市債	千円	0	0	0
その他特定財源		千円	0	0	0	
一般財源		千円	1,039	4,935	140	
成果	成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	① コミュニティサイクルのポート数	箇所	0	0	14	
	(指標説明)	当初の導入整備は市で担い、その後は民間活力により管理・運営を行う。				
②	(指標説明)					

事業概要説明書

費用対効果	民間活力を活用してコミュニティサイクル事業を導入した場合、年間運営費として見込まれる約5,000万円が削減できる。10年間で約5億円の削減効果を得ることができると思う。
現状の課題等	<p>○社会実験時に課題となったポート数(5箇所)や運営時間(8:00~18:00)など、改善できる項目を検討する。</p> <p>○国土交通省が策定中のガイドラインを考慮し、自転車利用環境の研究と並行して本市に相応しいコミュニティサイクルの導入を目指す。</p>
他市の状況等	<p>政令市:札幌市、新潟市、名古屋市、京都市、堺市、北九州市で実施</p> <p>県内他市:春日部市、川越市、熊谷市など(社会実験含む)で実施</p>

◎論点(審議のポイント)

- コミュニティサイクルの現状について
- コミュニティサイクルの取り組みについて
- 今後のコミュニティサイクルの推進について

コミュニティサイクルの 推進について

日 時 平成24年7月21日(土) 11:00~
会 場 大宮区役所6階 大会議室
所 管 都市局 都市計画部 都市交通課

コミュニティサイクルとは

- 街中に複数の貸出拠点(サイクルポート)を設置し、利用者がどのサイクルポートでも自由に貸出と返却ができる新しい都市交通システムです。
- 借りた場所で返すのが基本のレンタサイクルと違い、元の貸出場所と違う場所に乗り捨て可能なのが特徴です。

コミュニティサイクルイメージ図



導入目的

- さいたま市の都心間の連携強化
- 交通渋滞の緩和
- 放置自転車の減少
- 駐輪場建設の低減
- 短距離移動の利便性向上
- 都市内の回遊性向上、地域活性化

これまでの経緯

- 平成21年度
導入可能性調査(フーズビリティスタ
ディ)を実施
- 平成22年度
社会実験を実施
- 平成23年度
さいたま市コミュニティサイクル導入指針
を策定

利用状況(社会実験)

	(単位)	さいたま市コミュニティサイクルシステム
実施日数	日	28日(平成22年9月25日～平成22年10月22日)
自転車台数	台	100台(うち10台、電動アシスト付)
ポート数	箇所	5箇所
利用(会員) 登録者数	名	389名
延べ利用回数	回	1,353回
回転率	回/台・日	0.56回/台・日
平均利用時間	分/回	49分/回(平日;45分/回、休日;53分/回)
料金体系	登録料金	300円(別途預かり金700円)
	利用料金	1時間以内無料
		1時間経過以降、100円/時間

サイクルポート 位置図 (社会実験)

- 大宮駅東口
 - さいたま新都心駅東口
 - 大宮図書館
 - 合併記念見沼公園
 - 大宮盆栽美術館
- 計5ポート



分析結果(社会実験)

- 利用者ニーズ
1時間以内の利用が大半(83%)
- 利用者属性
市内(約50%)
- 年齢、職業、目的
偏りはなく、幅広く多目的

4. 社会実験 アンケート調査 (速報値)

■アンケート回答者数 210名

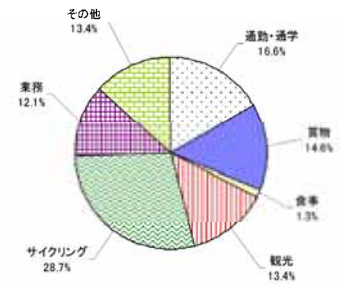
■1. コミュニティサイクルを利用しなかった場合の移動手段は(複数回答可)

	選択肢	構成比
1	徒歩	40.7%
2	電車	28.4%
3	バス	15.1%
4	自転車	10.5%
5	タクシー	3.9%
6	バイク	1.4%

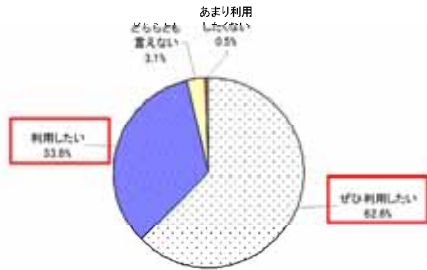
■2. コミュニティサイクルの利用により、予定していた行動が変わりましたか(複数回答可)

	選択肢	構成比
1	移動時間が短縮された	33.5%
2	行動範囲が広がった	28.8%
3	立寄り箇所が増えた	23.2%
4	予定より早く用事が終わった	9.7%
5	あまり変わらなかった	2.7%
6	その他	2.1%

■3. 利用目的は何ですか？

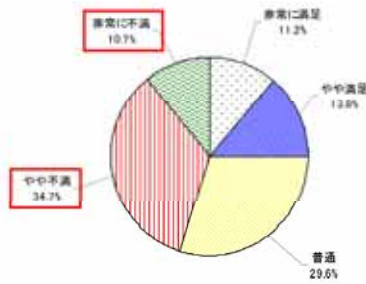


■4. 今後コミュニティサイクルを再度利用したいと思いますか？



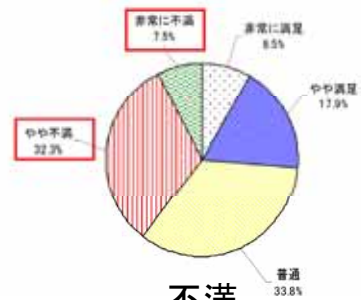
今後も利用したい
(約96%)

■5. 利用した感想を教えてください。(サイクルポートの設置数)



不満
(約45%)

■6. 利用した感想を教えてください。(運営時間)



不満
(約40%)

アンケート結果(社会実験)

■ 利用者の評価

今後もまた利用したい(約96%)

ポート数(不満:約45%)

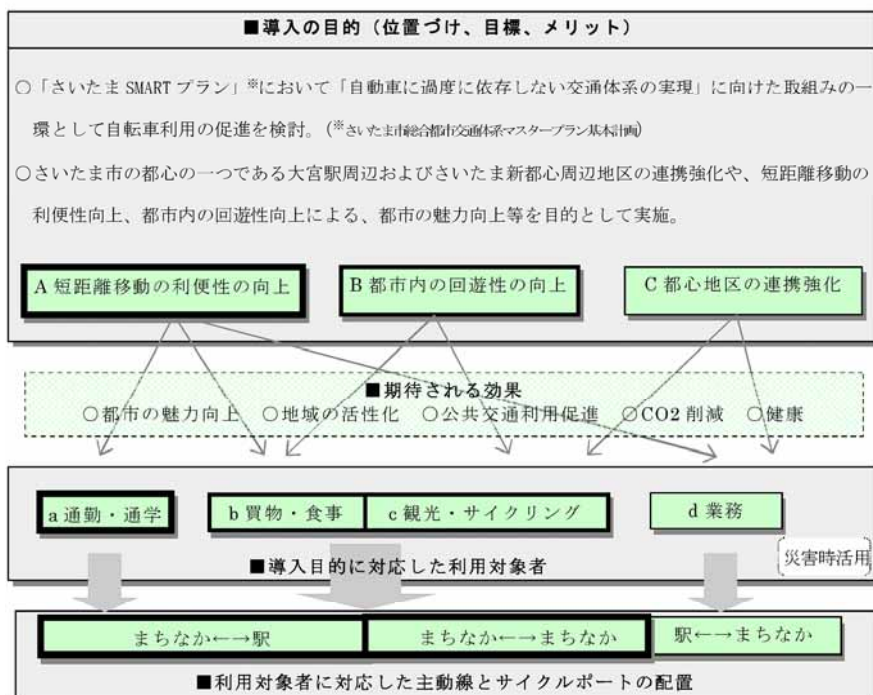
運営時間(不満:約40%)

ポート数(5箇所)や運営時間(8:00~18:00)などが課題となった。

さいたま市コミュニティサイクル導入指針

- 1) コミュニティサイクル導入の目的とその利用対象者
- 2) 整備計画
- 3) 運営手法

1) コミュニティサイクル導入の目的とその利用対象者



2) 整備計画

- 対象エリア
大宮駅を中心とした半径約3km圏内
- サイクルポート数
20箇所以上
- 自転車台数
全体で200台(ラック400台)以上

3) 運営手法

- 運営期間
10年間以上
- 設置主体
さいたま市(設置費用の負担上限額あり)
- 運営主体
民間企業など



今後の課題

- 国土交通省が策定中のガイドラインを考慮し、自転車利用環境の研究と並行して本市に相応しいコミュニティサイクルの導入を目指します。